

いわた 羅針盤

ら しん ばん

2020年
7月号
7/1発行

No.76

令和2年5月臨時会



新型コロナウイルス感染症対策に関する
意見書を国に提出しました

CONTENTS

- P2 議長あいさつ
- P3 各委員会紹介
- P5 各種委員名簿、会派名簿
- P6 議案審議
- P8 トピックス
- P9 インフォメーション
- P10 審議結果 他

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会を紹介します。

総務委員会

所管

総務部、企画部、自治市民部、消防本部、会計課、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項



民生教育委員会

所管

健康福祉部、こども部、教育委員会及び市立総合病院の所管に属する事項



建設産業委員会

所管

産業部、建設部、環境水道部及び農業委員会の所管に属する事項



寺田幹根議長2年目スタート
副議長に高田正人議員就任



議長 寺田 幹根
市議3期 63歳
会派 志政会 住所 福田



副議長 高田 正人
市議3期 68歳
会派 志政会 住所 東名

議長のあいさつ

先行き不透明な未曾有の状況を心を合わせて乗り越えるために

議長 寺田 幹根
平素より本市議会に対し格別のご理解とご協力を賜りまして、衷心より御礼申し上げます。任期最終年の劈頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。年初より発生した新型コロナウイルス感染症による混乱の度は、遡増しながら未だ終息の目途が立たず、今般の外出自粛、休業要請、学校等の休業対応などにより皆様にはご不便とご負担をおかけしております。

少子高齢化に伴う人口減少や、そこから派生する経済・社会状況への不安、自然災害の多発、子育て・教育にも関わる地域紐帯の希薄化など、多面的で複雑な課題が存在する中で、新型コロナウイルス問題が出来たことを議会として重く受け止め、現在、対策会議を設置して状況を把握すると共に、市当局と連携しながら適宜・迅速に対処すべき体制をとっております。今後は状況の推移を注視しつつ、直近で必要な事業と、長期的に必要な性が顕在化してくる事業の二種を想定し、議会全体で協力しながら、現在および将来の磐田市に対する責務を果たす所存であります。市民の皆様には、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を伏してお願い申し上げます。

監査委員



増田 暢之 議員

監査委員とは


監査委員は、地方自治法に基づき、市長が行政運営に関し優れた識見を有する者及び議員のうちから、議会の同意を得て選任します。磐田市では、識見を有する者2名、議員1名の計3名が選任されています。



監査の様子

5月臨時会の模様は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信 検索



クリック

議案審議

令和2年5月臨時会

会期 5月1日 (1日間)
5月18日~5月25日 (8日間)

一般会計補正予算(第1号)などを審議

5月臨時会・第2回臨時会では、市長提出の令和2年度一般会計補正予算など一般議案4件、人事議案7件のほか、全議員提出の意見書1件を審議しました。

なお、すべての議案の審議結果は、最終ページに掲載しています。

議案第44号 2年度一般会計補正予算(第1号)

全会一致で可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加であり、歳入歳出予算それぞれに179億724万9千円を追加し、総額を848億7724万9千円とするものです。

補正予算の主な内容

特別定額給付金及び子育て世帯臨時特別給付金の支給に要する経費の追加のほか、市内で施設・店舗を運営する事業者に休業を要請し、これに応じた中小企業者及び個人事業主に対し、協力を支給するための経費の追加や、今後、新型コロナウイルス感染症に対し、緊急的な支出に対応するため、予備費の増額を行うものであり、財源については、国庫支出金、県支出金及び財政調整基金繰入金を充てるものです。

本会議での主な質疑

問 協礼金支給事業について、食事提供施設を追加した経緯を伺う。

答 ゴールデンウィーク期間中のウイルスの感染拡大を防ぐため、休業要請をしたことによる。

問 予備費増額4億円の根拠について伺う。

答 緊急に必要なに迫られたものに迅速に対応できる金額として設定した。

討論がありました

賛成
1日も早く市民に届く対応を

特別定額給付金給付事業、子育て世帯臨時特別給付金給付事業、新型コロナウイルス感染症休業要請協礼金事業の3事業とも、1日も早く市民に届く対応が求められている案件であり、市民の不安を払拭するために、早期事業開始をお願いする。予備費の増額について、緊急事態宣言が5月6日から1カ月程度延長される見通しとなった状況から考えると、増額により素早い対応が可能となることを切望する。今後は、国、県からの動向も見据えながら、市民の声を聞き、必要な支援が1日でも早く手元に届くよう実施していただきたい。

志政会 網村和弘 議員

賛成
正確で迅速な対応を求める

特別定額給付金給付事業は、正確で迅速な対応を求める。新型コロナウイルス感染症休業要請協礼金事業は、密閉、密集、密接の3リスクの高い施設による感染拡大を防ぐための事業である。今後は、今回の事業では対象とならない業種に対する市としての支援事業も必要だと考える。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている実態を把握し、学業や経営、暮らしを継続できる補償へと抜本的に切り替えるよう、国や県に求めることが必要である。市長も先頭に立ち、市民の命、暮らしを守るための施策を行うことを求める。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

議案第51号 2年度一般会計補正予算(第2号)

全会一致で可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加であり、歳入歳出予算それぞれに5247万4千円を追加し、総額を849億2972万3千円とするものです。

討論がありました

意見を付して賛成
スピード感を持ち不安の解消を

新型コロナウイルス感染症への対応として実施するものと理解しているが、市内の実態把握と優先順位のつけ方が不明瞭に感じた。今後は、他市町の事例を積極的に参考にして、日々変化している状況ではあるが、スピード感を持ち、市民の不安を少しでも解消できるよう事業展開を期待する。

新磐田 芥川栄人 議員

意見を付して賛成
スピード感を持って支援策を

一部ではあるが、困窮者の住居確保給付金や幼稚園、保育園及び小・中学校の再開に伴う感染症対策の実施となっており、賛成する。今後、コロナ危機による深刻な実態を直視し、市内の生活等実態把握に努め、スピード感を持って市民の苦難に応える支援策を実施することを求める。

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

本会議での主な質疑

問 ふるさとといった学生応援事業を対象となる学生に周知させる取り組みについて伺う。

答 広報いわたやいわたホッとライン市のホームページ、公式フェイスブック等のSNSを活用して広く周知するとともに、交流センターへのチラシの配架も検討していきたい。

議案第1号 「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を国に提出

全会一致で可決

市議会は、新型コロナウイルス感染症の防止や医療体制の整備、経済活動の継続、雇用の維持、学習環境の整備などの課題解決に取り組むにあたり、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時交付金等、必要な財源について大幅に増額するよう、国に「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を提出しました。

(意見書提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、法務大臣、外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、防衛大臣、衆・参議院議長

(意見書全文)

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

世界的に大きな混乱を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、未だ感染者の発生が続いている。磐田市においても、不要不急の外出の自粛や「二つの密」を避けるなど、感染の防止に向けて、自治体をはじめ医療関係者、事業者など全ての市民が一丸となって取り組んできた。このことにより未だ感染者は発生していないものの、市内経済への影響は計り知れない。国内において、現在は感染拡大抑制に一定の成果が現れているが、感染拡大の第2波も懸念されており依然として予断を許さない状況が続いている。

地方自治体においては、限られた財源の中で、感染拡大の防止や医療体制の整備、経済活動の継続、雇用の維持、学習環境の整備など、様々な分野において対策を講じているところである。感染症を終息させるとともに、甚大な影響が出る地域経済の立て直しを図るためには、緊急事態宣言の解除後も取り組みを継続していく必要がある。

よって国においては、地方自治体が、これらの課題解決に取り組むにあたり、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時交付金等、必要な財源について大幅に増額するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年度の政務活動費 収入・支出状況についてお知らせします

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に役立てるために必要な経費の一部として、議会の会派からの申請により交付されるもので、地方自治法に基づき条例で定めています。議員の政策立案能力向上や、議会の監視機能の強化を図るための活動などに活用されています。

本市の政務活動費は1人当たり年額30万円で、上半期と下半期の2回にわけて会派に交付されます。元年度の会派別収入・支出状況は下表のとおりで、残余金は市へ返納されました。

(単位：円)

会派名	志政会	新磐田	きずなの会	日本共産党 磐田市議団	公明党磐田	社民・明るい 暮らしの会	合計	
交付対象人数	12人	4人	4人	2人	2人	1人	25人	
収入	交付金 上期	1,800,000	600,000	600,000	300,000	300,000	150,000	3,750,000
	交付金 下期	1,800,000	600,000	600,000	300,000	300,000	150,000	3,750,000
雑収入	11	3	2	1	2	0	19	
計	3,600,011	1,200,003	1,200,002	600,001	600,002	300,000	7,500,019	
支出	研究調査費	171,960	0	275,000	26,000	30,000	30,000	532,960
	調査旅費	1,511,882	791,588	558,700	9,120	239,100	15,820	3,126,210
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	図書・資料費	180,221	0	65,968	0	0	0	246,189
	広報費	782,203	353,872	3,300	340,639	0	0	1,480,014
	広聴費	41,694	16,493	0	0	0	0	58,187
	事務費	559,346	77,604	163,546	88,955	115,244	47,317	1,052,012
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,247,306	※1 (1,239,557) 1,200,003	1,066,514	464,714	384,344	93,137	(6,495,572) 6,456,018
	残余金	352,705	0	133,488	135,287	215,658	206,863	1,044,001

※1 政務活動費1,200,003円に会派からの持出分39,554円を加え、合計1,239,557円を支出しました。

磐田市の視察受入状況をご紹介します

元年度は下表のとおり32団体の議会議員の皆様が、本市を先進市として視察に訪れました。

受入日	自治体名	視察内容
1 令和元年5月29日	静岡県静岡市	デマンド型乗合タクシーについて
2 5月30日	鹿児島県始良市	ひと・ほんの庭にこっことについて 磐田スポーツ部活について
3 6月13日	山梨県甲斐市	磐田市香りの博物館の現地視察及び運営状況等の概要について
4 7月4日	静岡県沼津市	磐田スポーツ部活について
5 7月16日	長野県東御市	議会改革について
6 7月17日	宮城県名取市	磐田スマートアグリカルチャー事業について
7 7月24日	愛知県豊田市	ひと・ほんの庭にこっことについて
8 7月25日	埼玉県上尾市	議会広報について
9 7月25日	秋田県大館市	磐田市まち美化パートナー制度について
10 7月26日	宮崎県宮崎市	防災対策の概要及び各種ハザードマップの作成の取り組みについて
11 7月30日	埼玉県久喜市	磐田スポーツ部活について 多文化共生の取り組みについて
12 8月5日	滋賀県米原市	磐田スポーツ部活について
13 8月6日	栃木県栃木市	水道ビジョンの策定について
14 8月6日	愛知県田原市	議会報告会の手法、状況について
15 8月8日	岐阜県羽島市	議会改革の取り組みについて
16 8月23日	福井県敦賀市	議会改革の取り組みについて
17 8月26日	北海道北広島市	JR御厨駅について
18 8月30日	静岡県御殿場市	議会だよりについて
19 10月17日	奈良県香芝市	磐田スポーツ部活について
20 10月29日	兵庫県尼崎市	磐田市版おせっかい事業について
21 10月30日	愛知県半田市	中小企業振興策について
22 10月31日	福島県津若松市他	クリーンセンターについて
23 11月6日	千葉県浦安市	ひと・ほんの庭にこっことについて
24 11月7日	新潟県十日町市	スポーツによる地域活性化施策について
25 11月7日	大阪府八尾市	ひと・ほんの庭にこっことについて
26 11月12日	静岡県浜松市	奨学金返済支援制度について
27 11月12日	奈良県大和郡山	磐田市スポーツ推進計画について
28 11月18日	北海道稚内市	議員提案による条例制定について 議員問討議について
29 11月19日	福岡県柳川市	公共施設見直し計画、公共施設最適化の取り組みについて
30 12月25日	静岡県掛川市	新電力事業について
31 令和2年1月16日	岩手県盛岡市	磐田スポーツ部活について
32 3月27日	石川県金沢市	スポーツ推進に関する取り組みについて

4/13 磐田市議会新型コロナウイルス感染症対策会議を設置しました

4月13日に磐田市議会新型コロナウイルス感染症対策会議を設置し、議場で初会議を開きました。

これは、市が4月8日に同対策本部を設置したことに合わせ、執行機関の迅速な対応への支援や情報収集・提供の一元化を図り、連携した対応を行うため設置したものです。

初会議では、議員や市長をはじめ関係部局長等がマスクを着用して出席し、市の対策について報告を受け、感染した場合などの行動手順を確認しました。



4/30 コロナ対策の財源として、2年度の政務活動費50%削減を決定しました

4月30日に会派代表者会議を開催し、今年度の政務活動費の50%削減を全会一致で決定しました。これは、磐田市独自の新型コロナウイルス感染症対策の財源として活用してもらうことを目的としたものです。

政務活動費は議員1人当たり年30万円が会派ごとに交付されており、2年度の当初予算には25人分(欠員1人)計750万円を計上していましたが、半分の375万円に削減しました。

5/13 子育て支援センターに関する緊急申し書を提出しました

5月13日に市内の子育て支援センターの配置やあり方についての緊急申し書を市長へ提出しました。

これは、民生教育委員会が、子育て支援センターが今後どうあるべきかを、利用者や関係者から意見を聴くなどして調査・意見集約をし、市の今後の方針決定前に緊急申し入れを行ったものです。

緊急申し入れには、地域性や利用者需要を踏まえた計画・配置・運営を行うことや、利用者や地域の声を活かすことなどを盛り込みました。



審議結果

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 専決処分（国民健康保険税条例の一部改正）
- (2) 専決処分（介護保険条例の一部改正）
- (3) 2年度一般会計補正予算（第1号）
- (4) 監査委員選任の同意
- (5) 教育委員会の委員任命の同意
- (6) 磐田市外1組合公平委員会の委員選任の同意
- (7)～(9) 固定資産評価審査委員会の委員選任の同意
- (10) 2年度一般会計補正予算（第2号）
- (11) 監査委員選任の同意
- (12) 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

■本会議で行われた選挙

- (1) 市議会副議長の選挙
- (2) 中東遠看護専門学校組合議会議員の補欠選挙

■その他本会議で議題となった案件

- (1) 市議会副議長の辞職
- (2) 市議会常任委員会委員の所属変更
- (3) 市議会常任委員会委員の選任
- (4) 市議会運営委員会委員の選任

議会の傍聴について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、議会の傍聴は極力ご遠慮いただいています。もし傍聴される場合は、下記の事項を必ずお守りください。

1. マスクを着用してください。
2. 傍聴受付や議場及び委員会室入口に設置されている消毒液にて手指の消毒をしてください。
3. 発熱等風邪の症状のある方や、体調のすぐれない方は傍聴をお断りしています。（議会事務局での受付の際に体温測定をさせていただきます。）

なお、本会議の様子は、インターネットで映像配信もしておりますのでご利用ください。

議会フェイスブックで 情報をお届けします

市議会をより身近に感じていただくため、フェイスブックページで議会情報をお届けしています。ぜひ、アクセスしてください。



<https://www.facebook.com/iwata.gikai>

議会にご意見をお寄せください

市民の皆様の声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



表紙の写真

静岡県立磐田南高等学校 2年生
おおすぎ みづき
ビジュアル部 大杉 美月 さん

太陽の光が眩しい夏の日。ラムネの瓶を太陽にかざすと、光が反射して輝いて見えます。太陽の光と青空を映したラムネの瓶は、突き刺さるような夏の暑さを包み込み、爽やかさを運んでくれる気がします。暑い夏の中にある、涼しげで爽やかな瞬間を切り取った一枚です。

この写真で清々しい夏を感じていただけたら嬉しいです。



新型コロナウイルス感染拡大に伴う、国の緊急事態宣言は解除されましたが収束には至っていません。広報広聴委員会では、これらに配慮した市議会のホームページや議会だより「羅針盤」の編集などに改善や工夫を重ねています。これからも「見やすい、読みやすい紙面づくり」に努めていきたいと思っております。（岡 實）

【広報広聴委員会】

■委員長：岡 實 ■副委員長：小柳 貴臣
■委員：江塚 学、戸塚 邦彦、加藤 文重、松野 正比呂、高梨 俊弘

次回は**9月1日**発行予定です。